

Studies in Language Science Working Papers 2024 <第 14 号>

異なる母語話者の物語の引用表現からみた社会的価値観の特徴 —多文化共生時代における談話構築能力の試考—	遠山 千佳
インドネシア元技能実習生の日本語学習動機の変容	瀬口 雅美
Learners' Decision Making when Using a Rubric in L2 Writing Assessment	Miho Okumura
外来語「ソフトな」の意味考察 —「やわらかな」「柔軟な」との比較から—	陳 暁静 苗 雪原
Strategy Use and Motivation of Japanese Technical College Students and the Possibility of Online Learning Strategies	Atsuko Inatsugi
Translation: Relearning and Maintaining Foreign Languages in Adult Second Language Acquisition	Siukun Li
The Effects of Systematic Phonics Instruction on Chinese Elementary Students	Xiaoying Li
教員志望学生による英語絵本の読み聞かせ実践: 英語使用に関する学生の学びと課題	小柴 和香

Studies in Language Science Working Papers 2023 <第 13 号>

「左利き」に着目した中上級日本語学習者の脳活動の検証 — fNIRS トレンドグラフおよび相関分析 —	平田 裕
TEM を用いた日本語学習者の内省支援の試み—中上級クラスにおける省察活動の実践と課題—	稲田 栄一
TEA を用いた研究における調査協力者の関わり方の変化—協力者が研究者になるまでの Auto-TEM 分析—	鄭 昕 稲田 栄一
高大連携を見据えた英語スパイラル型授業の取組—大学における速読・多読・音読の実践報告—	杉本 喜孝 八野 幸子 溝手 真理

Studies in Language Science Working Papers 2022 <第 12 号>

日本語の移動事象表現「経路動詞+てくる」についての考察—「着いてくる」はなぜ言いにくい—	印 雨琪
日本人大学生によるトランスランゲージングの目的とその役割	鈴木 佑弥
ERP によるオノマトペの正誤に対する違和感分析—日本語母語話者と上級日本語学習者を対象に—	村田 美紀
コロナ禍におけるオンライン教育が日本語学習者に与えた影響—M-GTA による理論生成の試み—	稲田 栄一
漫画におけるオノマトペの特徴と日中対照—少年・少女別分析を通じて—	李 沛穎

Studies in Language Science Working Papers 2021 <第 11 号>

外国人就労者が日本の観光業に適応する過程についての一考察ー沖縄での調査を中心にー	宮城 貴子
同時双方向型オンライン授業を経験した日本語学習者の意識調査ーコース修了後の振り返りレポートの分析からー	稲田 栄一
「市民性形成」の「日本語教育」への受容過程についてー地域社会での「市民性形成」への期待ー	バナ 登美子

Studies in Language Science Working Papers 2020 <第 10 号>

外国人介護福祉士が持つ方言イメージとアイデンティティ形成ー介護現場における方言との関わりをどのように意味づけしているかー	稲田 栄一 佐々木 美江
技能実習生に対する関西方言の授業報告ー効率的・効果的に教える試みと今後の課題ー	楠田 瑛子

Studies in Language Science Working Papers 2019 <第 9 号>

大学英語カリキュラムにおける外部スピーキングテストの導入と質問紙による妥当性検証	清水 裕子 大和田 和治
日本語超級正規留学生の筆記テスト時と会話時の脳活動の類似性ーfNIRS トレンドグラフでの検証ー	平田 裕
日本語を主専攻とした中国人学習者の学習意欲の変化要因ーTEMによる日本語能力試験N1 レベル取得までの事例分析ー	稲田 栄一
中国語母語話者の敬語使用に対する葛藤過程ー自分らしさと気持ちをうまく伝えるには？ー	上川 多恵子
「セット」「組」の意味の相違についてー類義語としてのカタカナ語・和語の中国訳の観点からー	陳 暁静
助詞「は」と「が」の指導における日本語教師の意識とビリーフ	林 雅子
日本語学習者が持つ中国人教師と日本人教師に対するニーズ分析ー中国人日本語学習者に対するニーズ調査の質的検証からー	山田 祐也 大 瀧夕

Studies in Language Science Working Papers 2018 <第 8 号>

人により聞こえ方が異なる音声の謎ー音響音声学的観点からの考察ー	津熊 良政・藤田 郁
ピクトグラムにおける恣意性と類像性ー接ぎ木語との比較でー	于 楽育
不満表明に関する日中接触場面と母語話者場面の比較ーロールプレイ会話からー	藤崎 三津子
「一テイル」機能の成立に対する定量的検証の試みー日本語母語話者と中国語母語話者による機能成立パターンの比較ー	山田 祐也

Studies in Language Science Working Papers 2017 <第 7 号>

日本人の間違いやすい英語母音/a, ɔ, ɛ, ɪ/ –サウンドスペクトログラムによる音響的特徴の比較–	津熊 良政
複線径路・等至性モデリング(TEM)を用いたフィリピン人日本語教師の意識変容プロセスの考察	稲田 栄一
タイトル・看板表記などにみる日中比較対照 –ピクトグラムにおける人物の描き加えについて–	于 楽育
カタカナ語「シーズン」の意味変化について –1879年から2000年までの『朝日新聞』に基づいての概観–	陳 暁静
コミュニケーション教育に対する認識改革の探求 –「社会人基礎力を育成する授業 30 選 実践事例集」から考える–	野島 晃子
助詞「は」と「が」における日本語教師の認識と学習者の誤用傾向との関係性について –従属節内の主格助詞を中心として–	林 雅子
「ーテイル」の機能構成への一考察 –認知ドメインと機能構成の関係性に対する定量的考察への試み–	山田 祐也

Studies in Language Science Working Papers 2016 <第6号>

日本人の間違いやすい英語摩擦音/f v θ d/ –サウンドスペクトログラムによる音響的特徴の比較–	津熊 良政
映像コーパスを取り入れた日本語教育の試み –断り表現「いい」の教え方を例に–	韓 蘭靈・劉 玉琴・野澤 和典
シャドーイングが学習者に与える意識 –英語リスニング授業におけるシャドーイング導入の実践報告–	小坂 三栄
「シーズン」「季節」の意味相違について –類義語としてのカタカナ語・漢語の意味的相違の観点から–	陳 暁静
サービス・ラーニングによる対人コミュニケーション不安解消の効果 –米国アリゾナ大学の取り組みを例として–	野島 晃子

Studies in Language Science Working Papers 2015 <第5号>

引用表現「～って」の談話機能 –「ビールと餃子だって」がなぜ問題になったか–	遠山 千佳
学習者と日本人学生が「友達になる」相互交流活動「国際友活の会」実践報告	玉尾 文代 玉尾 章代
中国語母語話者の「ーテイル」の使用調査 –「ーテイル」の用法と内在アスペクトの観点から–	山田 裕也
産業界からの人材育成要求に対するコミュニケーション教育の取り組み –大学の教育目標から現状を探る–	野島 晃子

Studies in Language Science Working Papers 2014 <第4号>

日英バイリンガル園児のメタ言語発達段階解明研究:日本語モノリンガル園児との比較パイロットスタディー	田浦 秀幸 清水 つかさ 乗次 章子 久津木 文 田浦 アマンダ
EFL 環境下における高校生の学習方略使用に関する研究:英語教師と日本人高校生を対象にしたパイロット調査	山崎 凌
母音の無声化 ー日・中・越比較ー	Nguyen Thi Sao Mai 于 楽育 津熊 良政
コミュニケーション能力育成に向けた異質な他者とのグループ活動とグループ編成の授業実践	宇佐美 彰規
小学 4-6 年生のローマ字知識と英単語知識	小柴 和香
大阪圏技能実習生への大阪方言教育の一提言 ー発話機能による学習項目の検討ー	楠田 瑛子
企業が大学新卒者に求めるコミュニケーション能力の要素を探る ー東証第一部上場企業のウェブサイト分析を中心にー	野島 晃子

Studies in Language Science Working Papers 2013 <第 3 号>

多文化共生をめざした日本語教育専門家の育成「多文化共生を目指した日本語プロジェクト」活動報告	遠山 千佳
機能的近赤外光法 (fNIRS) の原理とバイリンガル第 1 言語保持に関する 4 年間の縦断実験研究	田浦 秀幸
日本人にとっての困難音 L/R ースペクトログラムによる音響的特徴の比較ー	津熊 良政
日本人高校生の英語授業不安と学習方略	大矢 訓史
バイリンガル第一言語発達疑似縦断研究:言語学的・脳イメージング技法を用いて	清水 つかさ 張 旋 田浦 秀幸
A Pilot Study of the Relationship Between Pronunciation and Attitude to Speak English	Hideki Tani
キャリア志向を変数とした言語学習ストラテジー研究:ESL 環境下のアジア人英語学習者を対象としたパイロット調査	山崎 凌
中国の大学におけるビジネス日本語科目の現状と課題ー中国人日本語教師の考えからー	上川 多恵子
日本語教育実習での実習生の学び ー自らの PAC 分析を通してー	中園 麻里子 山本 恭平
日本語能力試験と日本漢字能力検定の比較分析:漢字圏の日本語学習者の漢字処理の視点から	山田 祐也
「長所」と「長処」:日中両語の対照言語学的視点から	北原 慈子
The Relationship Between Code-switching Patterns and Language Proficiency	Xuan Zhang

CALL 授業を活性化させるグループ活動ー実践的コミュニケーションへの気づきー	宇佐美 彰規
類義語としてのカタカナ語・漢語の意味的相違ー『朝日新聞』に基づく「チャンス」の意味的変遷についての考察ー	陳 暁静
学校教育における「コミュニケーション」の定義とはーその変遷から考えるー	野島 晃子

Studies in Language Science Working Papers 2012 <第 2 号>

脳科学による言語処理メカニズム解明研究:3 年目の取り組み	
【座談会】現職英語教員が語る:新課程のはじまる高校での英語授業	
中国・上海地区における小・中・高校での英語教育調査報告記	田浦 秀幸・陸君
日本人英語学習者のライティング発達過程に関するー考察	山下 美朋・大賀 まゆみ・田浦 秀幸
英語で行われる英語授業に対する日本人高校生の不安:予備的研究	大矢 訓史・芹澤 和彦
国際結婚したカップルの直面する諸問題:日本人と英語母語話者との国際結婚に焦点を当てて	清水 つかさ
日本語教科書における文化的項目の比較分析:中級(前半)教科書選択のたすけとして	福井 孝三
プレゼンテーション授業:フィードバックを活用した改善活動の連続と実践	宇佐美 彰規
Business English Training Needs in Japanese Manufacturing Industry: Focusing on ESP Needs Analysis	Mai Tsuchiya
顔の見えない相手との関係を交渉する:敬意表現による心理的距離感	野島 晃子

Studies in Language Science Working Papers 2011 <第 1 号>

脳科学による言語処理メカニズム解明研究ー2 年目の取り組み	
An English Teacher Training Course at a Teachers' College in China: Interim Report	Hideyuki Taura and Jun Lu
大学院生を対象とした海外 TESOL certificate 取得プログラムに関する探索的研究	大賀 まゆみ 他
日本人ワーキングホリデー参加者のカナダにおける言語学習ストラテジー研究:EFL/ESL 大学生英語学習者との比較対象分析	秋篠 遼平 大内 啓樹
Second Life 仮想空間での言語学習の可能性ーImmersion Learning の事例紹介ー	松田 憲・津熊良政・山田 人士
音声分析ソフトを利用した音声実験の試みー日中比較対照ー	津熊 良政・山田 人士・張丹鳳

日本語能力上級レベルの中国語母語話者による複合名詞の発話特徴に関する一考察	張 丹鳳 津熊 良政
16世紀末から現在までの日中間における漢字訳語の交流	董 偉華